

総合評価「復旧型」の運用状況について

平成31年2月

入札監理課

1. 災害復旧工事における入札・契約方式の現状

(1) 背景

災害査定を受けて行う災害復旧工事について、透明性・公正性と円滑な発注の両立を求めて総合評価（復旧型）をH29に新設。

一方で、災害査定を受けて行う災害復旧工事であっても、随意契約ガイドラインで、現場条件等により真に緊急を要するものについては随意契約の適用も可能としている。

<条件付一般競争入札（総合評価方式（復旧型））>

災害査定を受けて発注する復旧工事が対象。

<随意契約（災害等緊急を要するもの）>

災害等緊急を要する公共工事等は随意契約によることができるが、適用に当たっては、真に緊急を要するものに厳格化している。

(2) 現状（H29～H30.11月分）

- ・災害復旧工事の発注件数に対して、条件付一般競争（価格競争、総合評価（復旧型））を実施した割合は16.8%（H29）から37.0%（H30）に20.2%増加。
- ・一方、随意契約のうち、特に被災から1年以上経過して随意契約を適用した割合が、19.7%（H29）から、12.0%（H30）に7.8%減少。

⇒ 復旧型の新設から1年以上が経過し、緊急性の度合いに応じた随意契約と条件付一般競争入札の適切な使い分けが浸透してきた。

	H29		H30(11月分まで)		H30-H29	合計	
	件数	全体に占める割合	件数	全体に占める割合		件数	全体に占める割合
災害復旧工事件数	137	100.0%	92	100.0%		229	100.0%
(1)随意契約件数	114	83.2%	58	63.0%	-20.2%	172	75.1%
被災から1年以下の件数	87	63.5%	47	51.1%	-12.4%	134	58.5%
被災から1年超の件数	27	19.7%	11	12.0%	-7.8%	38	16.6%
(2)条件付一般競争入札件数	23	16.8%	34	37.0%	20.2%	57	24.9%
価格競争	3	2.2%	8	8.7%	6.5%	11	4.8%
総合評価（復旧型）	20	14.6%	26	28.3%	13.7%	46	20.1%

2. 今後の対応

引き続き、災害復旧工事における随意契約と条件付一般競争入札の適切な運用を行っていく。

災害復旧工事における入札・契約方式の適用イメージ

災害復旧工事における随意契約と条件付一般競争入札（総合評価（復旧型）等）の適用イメージは、下記のとおり。

